

厚生労働行政推進調査事業費補助金難治性疾患等政策研究事業  
(免疫アレルギー疾患等政策研究事業 (免疫アレルギー疾患政策研究分野))  
慢性腎臓病 CKD の診療体制構築と普及・啓発による医療の向上に関する研究  
分担研究報告書

研究分担者 守山 敏樹 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター  
研究協力者 猪阪 善隆 大阪大学大学院医学系研究科腎臓内科学

## 研究要旨

### I. CKD診療連携体制の構築-大阪府の取組について

CKD対策の推進に資する目的で、大阪府において大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI)が2015年12月に設立され、2016年4月より実質的活動を開始した。本稿では、O-CKDIの設立以来の活動について報告し、大都市圏でのCKD対策の実例について紹介し、全国各都道府県におけるCKD対策推進に対して、O-CKDIの活動がどのように応用・展開されうるかについて参考にする。

### II. 厚生労働省 腎疾患対策検討会における情報提供

平成20年3月に発出された腎疾患対策検討会報告書(今後の腎疾患対策のあり方について)は策定から10年が経過した。その間に腎疾患を含む、我が国の医療を取り巻く環境・状況には高齢化を基底とした変化が顕在化している。今回、上記報告書策定後の10年を検証するとともに、その結果を踏まえ、今後10年間を見据えた新たな提言作成が実施されることとなった。本研究班はその策定作業において中核的役割を果たすことが予定されているものであり、小職は第一回腎疾患対策検討会において参考人として情報提供する機会を与えられたので、その発表内容についてここで報告する。

## A. 研究目的・方法

我が国は高齢化社会の到来を迎え、診療対象の多くが高齢者となりつつある。老年人口の増加は今後も継続し、2025年には高齢化率は30%を超えることが予想されている。平均寿命と日常生活に制限のない健康寿命との差(不健康期間)は男性で9年以上、女性12年以上あり、その差はむしろ拡大方向にある。健康寿命の延伸によって、平均寿命との差を短縮することができれば、個人の生活の質の低下防止とともに、社会保障負担の軽減も期待できる。

CKDは国民の健康寿命延伸の障害因子ともなりうる。本邦では透析導入年齢の高齢化が進み、2015年度の導入時平均年齢は男性が68.37歳、女性は70.95歳であった。全体の平均は69.20歳であり、透析患者数増加の一因は高齢化である。高齢者特に75歳以上の後期高齢者の末期腎不全への進行阻止が求められている。大阪府においてもこの問題は看過できないレベルに至っており、体系的・包括的なCKD対策の策定・実施が課題

とされてきた。これを受けて、2015年12月に大阪府慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI)が設立された。その今日までの活動内容は、「慢性腎臓病CKDの診療体制構築と普及・啓発による医療の向上」の方法論と実践になっている。また、併せて、この活動を踏まえて行った厚生労働省「腎疾患対策検討会」における情報提供についての報告も、本研究推進の方法の一環をなしている。

## B. 研究結果

### I. O-CKDI活動報告

以下にO-CKDI活動報告発表資料を提示する。この資料において、厚労省「腎疾患対策検討会」での情報提供、その後の検討状況についても報告する。

## 大阪府におけるCKD対策について

### 大阪慢性腎臓病対策協議会

#### 3つの見える化の支援を考える

- 府民の皆様から医療者のCKD対策が見える
- かかりつけ医から専門医のCKD対策が見える
- 行政・保健師とCKD対策の連携が見える

大阪慢性腎臓病対策協議会（O-CKDI）は、大阪府に在住するすべての方々へのCKDの疾患啓発を行い、早期発見・早期治療の更なる浸透を目指し腎臓病の重症化予防に取り組めます。

具体的達成イメージ…★健診受診率の向上  
★医療費適正化の支援  
★透析導入の遅延

### 大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI)について

大阪府慢性腎臓病対策協議会（O-CKDI）は、大阪府における慢性腎臓病（CKD）啓発を進めたいと考え、腎臓専門医が集まり発足させた組織です。

【私たちの思い】  
CKD対策への支援を行うことで大阪府民の健康寿命に寄与したい。

大阪府に在住するすべての方々へのCKDの疾患啓発を行い、早期発見・早期治療の更なる浸透を目指し腎臓病の重症化予防に取り組めます。

#### <O-CKDIの活動のご紹介>

##### ①公開講座



医師・メディカルスタッフ・行政が一体となって、CKD啓発活動を行います

世話人  
+  
行政  
(大阪府)  
+  
行政  
(高槻市)  
+  
高槻市医師会  
+  
栄養士・看護師

#### 日本慢性腎臓病対策協議会 (J-CKDI)

#### 大阪慢性腎臓病対策協議会 (O-CKDI)



CKD対策への支援を行うことでCKD診療の向上と大阪府民の健康寿命に寄与したい



O-CKDI  
・2015年12月21日、発足  
・2016年4月6日、第1回世話人会

#### ②世界腎臓DAY街頭キャンペーン

あなたの腎臓、  
気にしたことはありますか？  
毎年3月第2木曜日は「世界腎臓デー」  
慢性腎臓病「CKD」  
啓発キャンペーン  
2018年3月10日(土)12時~16時00分  
大阪駅前ディエールビル地下1階

【ミニクイズ&健康相談】  
12:30~13:00 ①慢性腎臓病(CKD)はなぜ怖い?  
13:30~14:00 ②慢性腎臓病(CKD)と診断されたら  
14:30~15:00 ③腎臓と生活習慣  
→腎臓にやさしい食事のポイント、生活のポイント  
15:00~15:30 ④腎臓と透析について  
⑤透析導入の遅延  
⑥透析導入の遅延  
⑦透析導入の遅延  
⑧透析導入の遅延  
⑨透析導入の遅延  
⑩透析導入の遅延

参加費無料  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要  
お申し込み不要

講師  
①市立大阪医療センター 中野裕子 先生  
②北摂腎臓病 関本道雄 先生  
③大阪大学 佐藤浩二 先生  
④大阪大学 佐藤浩二 先生  
⑤大阪大学 佐藤浩二 先生  
⑥大阪大学 佐藤浩二 先生  
⑦大阪大学 佐藤浩二 先生  
⑧大阪大学 佐藤浩二 先生  
⑨大阪大学 佐藤浩二 先生  
⑩大阪大学 佐藤浩二 先生

日時: 3月10日(土)12時~16時  
場所: 『ディーズスクエア』  
『ディアルーム』



具体的にはどんなことをするの？



- 健診受診率向上にリンクしたCKD対策基盤の構築支援
  - 医療費適正化の支援
  - 透析導入の遅延
- これらを達成するために、  
“見える”CKD対策を行って行きたいと考えています。

#### 【3つの見える化】

- ① 府民の皆様から医療者のCKD対策が見える
- ② かかりつけ医から専門医のCKD対策が見える
- ③ 行政とのCKD対策における連携が見える

以下大阪府との協同による大阪府 HP を通じた、世界腎臓デーでの街頭での CKD 啓発活動の広報とその実施風景を示す。



大阪府副知事  
広報担当  
「もずやん」  
のTwitter



出展：大阪府HP <https://twitter.com/i/web/status/973458110894321664>

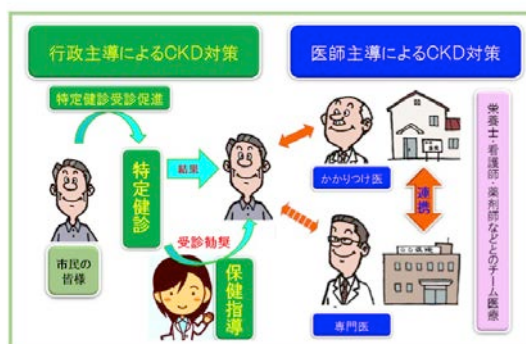
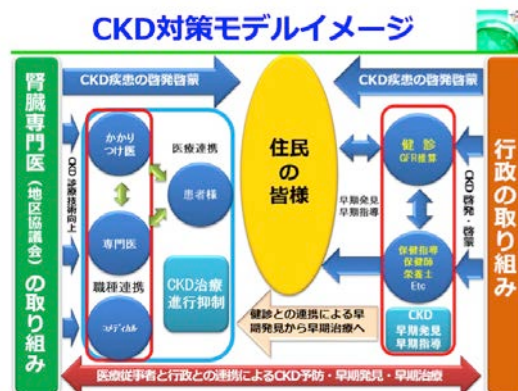


### ③ 広報活動

O-CKDIでは、今後多くの方々にCKD啓発を行っていきたく考えています。



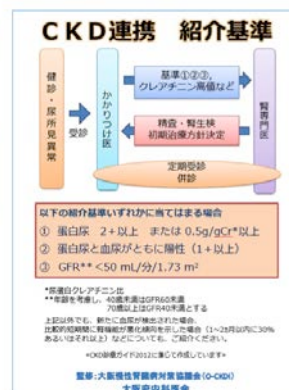
行政向けにパンフレット  
を制作



かかりつけ医との連携強化を果すため、CKD 連携紹介基準を大阪府臨床内科医会と協同で作成し、会員に配布している。

大阪府内科医会による  
専門医への紹介基準

現在改定中





## CKD対策への支援を行うことで 先生方のCKD診療の向上と 大阪府民の健康寿命に寄与したい

- ・専門医・かかりつけ医の先生方と共に大阪府に在住するすべての方々へのCKDの疾患啓発を行い、早期発見・早期治療の更なる浸透を目指し腎臓病の重症化予防に取り組む

### 大阪慢性腎臓病対策協議会 (O-CKDI)

代表幹事：守山敏樹（大阪大学）  
幹事：藤原尚輝（大阪大学）  
幹事：石村栄治（大阪市立大学）  
顧問：西澤良記（井上病院）  
顧問：武智恵理（北野病院）  
世話人：東浩人（大阪医科大学）  
世話人：有馬秀二（近畿大学）  
世話人：稲葉雅章（大阪市立大学）  
世話人：小西徳夫（大阪市立総合医療センター）  
世話人：阪口謙彦（住友病院）  
世話人：高橋延行（関西医科大学）  
世話人：高橋延行（関西医科大学）  
世話人：林晃正（大阪府立急性期・総合医療センター）  
世話人：中田裕人（東大阪大学）  
世話人：福田正博（大阪府内科医会）  
世話人：山内淳（大阪労災病院）



【連絡先・事務局】  
大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学  
事務連絡責任者 橋本 尚隆  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2  
電話（代表）06-6879-3857

## より多くの 大阪の方に



### 2018年度までのアウトカム

- ・CKD対策企画数
- ・大阪府とのタイアップ  
“第3次医療計画”へのCKDを追記頂いた
- ・厚労省、学会への影響
- ・各地域での取り組み内容の変化
- ・CKD対策推進委員⇒約120名の参画

・各地区で行っているCKD対策を大阪府全体に広げる  
・行政や医師会、内科医会などとのタイアップ

以下、O-CKDI 発足以降に実施した地域でのCKD講演会、市民公開講座等の活動実績を示す。

#### O-CKDI共催及び後援の会合（2017年）14講演会

- ・1月12日 ORCH CKD病診連携の会
- ・3月2日 中之島腎臓フォーラム2017
- ・3月11日 街頭キャンペーン
- ・3月11日 第9回中津CKD病診連携勉強会
- ・3月18日 南大阪CKD連携の会
- ・4月20日 第5回狭心腎血管研究会
- ・5月20日 高槻CKDネットワーク
- ・7月15日 北河内腎臓病フォーラム
- ・8月26日 慢性腎臓病市民公開講座（高槻市）
- ・9月14日 CKDチーム医療を考える会
- ・9月30日 第10回中津CKD病診連携勉強会
- ・11月25日 北河内慢性腎臓病（CKD）市民公開講座
- ・12月2日 CKDセミナー（日本腎臓財団）
- ・12月9日 大阪慢性腎臓病対策協議会（O-CKDI専門医向け企画）

#### O-CKDI共催及び後援の会合（2016年）14講演会

- ・5月14日 豊中市医師会講演会
- ・5月19日 高槻CKDネットワーク
- ・5月21日 第7回中津CKD病診連携勉強会
- ・7月21日 法円坂 糖 腎 医療連携Forum
- ・7月21日 阿倍野区医師会講演会
- ・7月24日 第61回日本透析医学会学術集会・総会 市民公開講座
- ・9月3日 豊中市医師会CKD研修会
- ・9月23日 守口市医師会学術講演会
- ・9月29日 CKDのチーム医療を考える会
- ・10月5日 第54回全国大学保健管理研究集会 ランチョンセミナー
- ・10月29日 高槻市医師会学術講演会
- ・10月29日 第8回中津CKD病診連携勉強会
- ・12月3日 O-CKDI講演会
- ・12月20日 堺市医師会内科医会学術講演会

#### O-CKDI共催及び後援の会合（2018年5月14日現在）①

- ・1月18日 東大阪慢性腎臓病カンファレンス（市立東大阪総合医療センター）
- ・1月25日 慢性腎臓病地域連携勉強会（大阪大学）
- ・1月27日 第2回慢性腎臓病（CKD）セミナー（大阪市立総合医療センター）
- ・2月17日 Osaka Kidney Meeting（大阪市立総合医療センター）
- ・3月1日 K2-Net（北野病院）
- ・3月1日 中之島腎臓フォーラム2018（住友病院・関西電力病院・JCHO大阪）
- ・3月3日 市民公開講座in大阪（大阪医療センター）
- ・3月3日 市民公開講座（白鷺病院）
- ・3月8日 病診連携CKDセミナー（大阪大学）
- ・3月10日 世界腎臓DAYイベント（O-CKDI）
- ・3月15日 豊能医療圏CKDカンファレンス
- ・3月17日 第11回中津CKD病診連携勉強会（済生会中津）
- ・3月22日 ORCH CKD病診連携の会（大阪日赤）

## O-CKDI共催及び後援の会合(2018年5月14日現在)②

- ・ 4月21日 慢性腎臓病市民公開講座in茨木(高槻病院)
- ・ 4月25日 淀川区医師会学術講演会(福田先生)
- ・ 5月22日 北野病院腎臓病教室
- ・ 5月24日 地域医療ネットワーク講演会(松下記念病院)
- ・ 6月2日 腎不全ネットワークの会(日生病院他)
- ・ 6月26日 北野病院腎臓病教室
- ・ 7月24日 北野病院腎臓病教室
- ・ 8月28日 北野病院腎臓病教室
- ・ 10月23日 北野病院腎臓病教室
- ・ 11月27日 北野病院腎臓病教室

## 腎疾患対策検討会 構成員名簿

柏原 直樹	川崎医科大学 副学長 腎臓・高血圧内科 教授
門脇 孝	国立大学法人東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科 教授
川村 孝	国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター センター長
川本 利恵子	公益社団法人日本看護学会 常任理事
小室 一成	国立大学法人東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授
中澤 よう子	神奈川県保健福祉局技監(地域包括ケア担当)兼保健医療部長
中元 秀友	埼玉医科大学総合診療内科 教授
南学 正臣	国立大学法人東京大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授
羽鳥 裕	公益社団法人 日本医師会 常任理事
馬場 亨	一般社団法人 全国腎臓病協議会 理事長
松村 満美子	特定非営利活動法人 腎臓サポート協会 理事長

(任期:平成29年12月14日~平成31年12月13日)

上記のように、地域における CKD 啓発活動は着実に広がりを見せている。

次に、学会での CKD 啓発活動を示す。

昨年度日本腎臓学会西部学術大会海外招請シンポジウムでの発表である。

## 学会に対する活動(例)

### 第47回日本腎臓学会西部学術大会

海外招請シンポジウム	
「アジアと日本のCKD対策:多様性と地域性」 CKD in Asia and Japan: Diversity and regionality	
10月13日(金) 13:10-15:00 第1会場(3階 コンベンションホール)	
司会:	高橋由紀夫(京都府立医科大学 医学部腎臓内科)
村山 善(岡山大学 血液浄化療法内科学科腎臓病学)	
海外招請SY-1 Current Status of Chronic Kidney Disease (CKD) in Taiwan	
Division of Nephrology, Department of Internal Medicine and Faculty of Renal Care, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan.	
Hung-Chun Chen	
海外招請SY-2	
Hanoi Medical University	
Ha Phan Hai Anh	
海外招請SY-3 大阪府におけるCKD対策:現状と展望	
大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 守山 敬樹	
海外招請SY-4 地方におけるCKD 対策-基礎研究との連携-	
鳥取大学医学部附属病院 腎臓内科 伊藤 孝史	
海外招請SY-5 ISN Sister Renal Center program を介した ISN のアジア連携活動	
順天堂大学医学部 腎臓内科学講座 鈴木 祐介	

### 大阪府におけるCKD対策:現状と展望を報告

ついで、厚生労働省「腎疾患対策検討会での報告について示す。

## 腎疾患対策検討会での報告

国立大学法人大阪大学キャンパスライフ健康支援センター センター長 堀	
厚生労働省健康政策局 臓器 報告	
「第1回腎疾患対策検討会」参加者の報告について(要約)	
腎疾患対策の推進につきましては、日頃より種々協力力を賜り、厚く御礼申し上げます。	
さて、この度、「今後の腎疾患対策のあり方について」が腎疾患対策検討会で報告されてから10年が過ぎようとしていることから、未達成な施策や、この10年間に新たに発生した課題について報告するため、「腎疾患対策検討会」を立ち上げ、腎疾患対策推進に向けた必要な対応を定めることとなります。	
つきましては、下記より開催されます「第1回腎疾患対策検討会」に、貴府の中山健樹副知事(参加者)として御出席いただき、報告御意見を伺いたいと思っております。よろしく御協力をお願いいたします。御礼申し上げます。	
なお、御本人には、別途、御出席依頼を送付いたしておりますので、念のため申し添えます。	
記	
1. 日 時: 平成29年12月14日(金) 13:00~15:00	
2. 場 所: 厚生労働省中央労働委員会7階議室 (東京都港区芝公園1-6-32)	
3. 議 事(予定)	
(1) 腎疾患対策検討会について	
(2) 出席の趣意について	
(3) 腎疾患の現状について	
(4) 腎疾患対策におけるこれまでの取組と課題について	
(5) その他	

## 腎疾患対策検討会 第3回

厚生労働省	
腎疾患対策検討会(平成29年度)	
開催日時	平成29年12月14日(金) 13:00~15:00
開催場所	東京都港区芝公園1-6-32 厚生労働省中央労働委員会7階議室
出席者	川崎医科大学 副学長 腎臓・高血圧内科 教授 国立大学法人東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科 教授 国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター センター長 公益社団法人日本看護学会 常任理事 国立大学法人東京大学大学院医学系研究科 循環器内科学 教授 神奈川県保健福祉局技監(地域包括ケア担当)兼保健医療部長 埼玉医科大学総合診療内科 教授 国立大学法人東京大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授 公益社団法人 日本医師会 常任理事 一般社団法人 全国腎臓病協議会 理事長 特定非営利活動法人 腎臓サポート協会 理事長

厚労省HPより  
大阪での取り組みと方向性は同じである。  
⇒大阪の活動を更に発展させていきたい

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-kenkou.html?tid=499179>

## 腎疾患対策検討会報告書の全体像(案)

全体目標	
自覚症状に乏しい慢性腎臓病(CKD)を早期に発見・診断し、良質で適切な治療を早期から実施・継続することにより、CKD重症化予防の徹底とともに、CKD患者(透析患者を含む)のQOLの維持向上を図る。	
達成すべき成果目標(KPI)案	
①多くの関係者が参画のもと、地域の実情に応じた本報告書の腎疾患対策に取り組む。 (評価指標案:市町村単位での対策の取組状況)	
②かかりつけ医、メディカルスタッフ、専門医等が連携して、全てのCKD患者が早期に適切な診療を受けられるよう、地域におけるCKD診療体制を充実させる。 (評価指標案:下記②. 地域における医療提供体制の整備)の評価指標案を参照)	
③2028年までに、年間の新規透析導入患者数を35,000人以下に減少させる。 (評価指標案:新規透析導入患者数を、2016年比で、5年で5%以上減少、10年で10%以上減少を達成する都道府県数)	
※進捗管理の過程で、成果目標(KPI)案の達成が困難と判断される場合、実施すべき取組を再度検討の上、対策に取り組む。目標達成に努めること。	

## 個別対策ごとに今後実施すべき取組と評価指標案

1. 普及啓発	2. 地域における医療提供体制の整備	3. 診療水準の向上	4. 人材育成	5. 研究開発の推進
<p>＜実施すべき取組＞</p> <p>①普及すべき内容の検討・整理と普及啓発活動の展開</p> <p>②地域で中心役割を担う担当者や、行政と連携して活動を進める</p> <p>③地域での普及啓発活動の実施状況等を把握した上で、活動内容の評価、対事例の共有</p> <p>＜評価指標案＞</p> <p>①全都道府県で普及啓発活動の実施</p> <p>②市民公開講座等の実施数</p> <p>③CKDの認知度</p>	<p>＜実施すべき取組＞</p> <p>①かかりつけ医や腎臓専門医等への紹介基準の普及</p> <p>②地域における、腎臓専門医等が所属する診療機関等の連携や、CKD診療を行う、かかりつけ医や非腎臓専門医等の情報共有</p> <p>＜評価指標案＞</p> <p>①かかりつけ医と腎臓専門医等の紹介・紹介基準</p> <p>②地域別のCKD診療を担う医師や専門医の割合</p> <p>③紹介基準に則った腎臓専門医への紹介率</p>	<p>＜実施すべき取組＞</p> <p>①腎臓学会等が協議し、機関内部を統合させた、ガイドライン等の作成</p> <p>②患者、メディカルスタッフ、かかりつけ医など利用者を明確にしたガイドライン等を作成、普及</p> <p>③透析医療機関等への紹介基準や、専門医間の連携基準等を作成、普及</p> <p>＜評価指標案＞</p> <p>①CKD診療ガイド・ガイドラインの利用者数</p> <p>②機関別の診療の実施率</p>	<p>＜実施すべき取組＞</p> <p>①腎臓病治療指導士を育成するための知識を有する医療従事者の育成</p> <p>②かかりつけ医と腎臓病治療指導士との連携、腎臓病治療指導士と連携する医療従事者との連携の推進</p> <p>＜評価指標案＞</p> <p>①地域別の腎臓病治療指導士数</p> <p>②腎臓病治療指導士と連携する医療従事者等の連携推進事例数</p>	<p>＜研究開発の方向性＞</p> <p>①中長期的な目標を設定した研究を、オールジャパン体制で推進</p> <p>②本報告書の全体目標を達成するための研究推進</p> <p>③行政と関連学会等が連携して、施策の推進や推進、進捗管理等を行う研究の推進</p> <p>＜研究例＞</p> <p>①健康学会と連携による、データベースの連携</p> <p>②研究及び診療へのICTやビッグデータの活用</p> <p>③医療共同試験を含めた臨床試験の推進</p> <p>④病態解析に基づく効果的な新治療薬の開発</p> <p>⑤再生・オルガノス(ゲノム)等研究の推進</p> <p>⑥腎臓病の基礎研究や国際競争力の基盤強化</p>

ここで、O-CKDI 発足以降、大阪府と連携を進めてきた経緯を示す。

#### 行政とのタイアップ

2016年5月16日 大阪府庁訪問

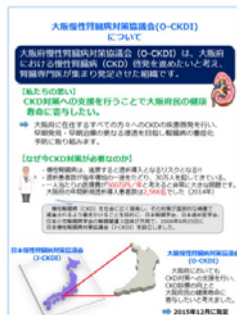
- 大阪のCKD対策について
- O-CKDIの設立について
- 今後の協力要請
  - …協会けんぽ向けの講演
  - …保健師向けの活動について
  - …街頭キャンペーンとうへの協力



【参加者】  
・健康づくり課(田中課長、中谷課長補佐)  
・猪阪教授

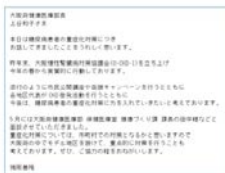
2016年6月3日 国保担当者向け研修会にて

- 行政向けのパンフレットを大阪府健康づくり課から国保担当者に対して約200部配布してもらい、周知徹底を行った。



7月14日 猪阪教授が上家健康医療部長と面談

- 阪大の会合にて、猪阪教授が上家健康医療部長と面談
- O-CKDIの考える今後の取り組みについてディスカッションし、O-CKDIのビジョン・資料を共有。



8月17日 大阪府健康づくり課が訪問

- 猪阪教授が上家健康医療部長にメールを送った件で、健康づくり課、田中課長・中谷課長補佐が阪大に訪問
- ⇒各市町村の尿検査状況や保健指導の実施状況確認を依頼
- ⇒保健師と顔を合わせたディスカッション機会の設置依頼

#### 【協力を約束】

- ⇒行政側の組織については、DM対策推進会議が立ち上がったところであり、違いについて医師会や他の部署に理解が得られないかもしれない。
- 1年後の設置を目標に、活動実績を積み重ねていくことで話がなされた。
- ⇒実績を積み重ねる必要がある。

ここから、大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課との連携の一環として、健康づくり課 田中課長（当時）による健康づくりとCKDについての講演を紹介する。特記事項として、平成30年度より実施されている第3次大阪府健康増進計画に慢性腎臓病（CKD）が独立した項目として取り上げられたことが挙げられる。



### 大阪府における健康づくりとCKD

平成29年12月9日  
大阪慢性腎臓病対策協議会（O-CKDI）講演会  
大阪府 健康医療部 保健医療室  
健康づくり課長 田中 修

#### 平成30年度から医療と介護で大きな改革が...

##### ◎診療報酬改定+介護報酬改定（同時改定）

##### ◎計画関係

- 第7次大阪府保健医療計画（H30～35）
- 第3次大阪府健康増進計画（H30～35）**
- 第3期大阪府がん対策推進計画（H30～35）
- 第3次大阪府食育推進計画（H30～35）
- 第2次大阪府口腔保健計画（H30～35）
- 第3次大阪府医療費適正化計画（H30～35）
- 大阪府アルコール健康障害対策推進計画（H30～35）
- 第7期大阪府高齢者計画（H30～35）

##### ◎医療保険関係

- 国民健康保険の都道府県一元化
- 第2期データヘルス推進計画（各保険者）
- 特定健診・特定保健指導第3期





**第2段階**

第5条 健康検査の分別の取組

5.1 健康診断・健康検査

5.2 がん検診

5.3 **高血圧**、糖尿病、脂質代謝

5.4 COPD

5.5 心の健康

5.6 喫煙・禁煙

5.7 身体活動・運動

5.8 休養・睡眠

5.9 ほか

5.10 **高血圧**

5.11 歯と口の健康

5.12 社会環境の改善を主眼とした取組

**第3段階**

第3条 市民の健康を促すための取組

1 健康診断からみた課題と取組

2 生活習慣病の予防

3 がん検診の取組

4 脂質代謝

5 糖尿病

6 **高血圧**

7 **高血圧**

8 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）

9 肥満

10 運動・身体活動

11 喫煙・禁煙

12 休養・睡眠

13 歯と口の健康

14 社会参加・社会環境

第3段階は、第2段階で実施した項目について併

**(6) 健康診断 (COPD)**

○COPDは、糖尿病や高血圧など生活習慣病の悪化により重症化する。発症後、初期段階では自覚症状がほとんどないため発見が遅れがちである。症状が進むと、重症化し、人工呼吸が必要となることがある。病気に対する意識が薄く知られていない人が多い。

○調査結果によると、高血圧は増加傾向にありながら、府は全国平均を一つ上回っている。また、新規人工透析導入者数は、近頃は横ばい傾向に移行している。こうした傾向も糖尿病や脂質代謝異常によるものがあるのではないかと考え、人工透析導入者への適切な看護では、特に早期に糖尿病又は高血圧による腎臓病によるものがある。人工透析導入者への早期に介入し治療していくにも関わらず、未治療・治療率が低く、その改善、重症化につながるような取り組みが乏しく、今後、特に重症化防止の観点から、糖尿病や高血圧の早期発見と治療の充実を図り、重症化予防の取組を強化していくことが求められる。

など

⇒CKD対策推進医員用（世話人も兼用）のスライドを準備しました。

2018年12月8日に、モデル地区の発表を依頼し、各地域でその取り組みを展開できないか検討中



各医療圏におけるCKD対策を、行政と一緒に考え、取り組む姿へ！

